



北海道

# 農村ツーリズム 人材育成セミナー

参加  
無料

とき：令和6年 1月31日(水) 13:30～16:30

ところ：北海道第二水産ビル4F 4S会議室  
(札幌市中央区北3条西7丁目)

定員  
先着80名

オンライン参加も  
別途受け付けます  
<要申し込み>

基調  
講演

## 里山資源を活用した広域的な観光地域づくり

～信州いいやま観光局の取り組みを事例として～

「ワンストップ窓口」を基軸に、里山など「日本の原風景」をテーマにしたコンテンツ開発から、販売、広報、マーケティングまでを一体的に手掛け、行政、地場産業、地域住民と有機的に連携しながら地域に価値と収益をもたらす農村ツーリズムの取り組みについて、事例を交えて紹介します。

講師・パネリスト

### 大西 宏志氏

一般社団法人信州いいやま観光局 事務局長 / NPO法人信越トレイルクラブ 事務局長  
岡山県出身。大学卒業後、長野県へ移住。ホテル、スキー場、出版社勤務を経て、2004年よりNPO法人信越トレイルクラブの専任事務局長として全線開通まで携わる。その後、一般社団法人信州いいやま観光局に籍を移し、着地型旅行商品「飯山旅々。」の立ち上げ、北陸新幹線飯山駅開業に向けた広域観光連携「信越自然郷」の事業推進、飯山駅観光交流センター(観光案内所、アクティビティセンター、カフェ)の立ち上げを担当後、自然体験型宿泊施設「なべくら高原・森の家」支配人、日帰り温泉施設「いいやま湯滝温泉」支配人を経て現職。

宿泊や食など、さまざまな体験を通じて農山漁村の暮らしや文化に触れる農村ツーリズムは、都市と農山漁村との交流を促進し、地域の活性化に繋がるものとして注目されています。

本セミナーでは農村ツーリズム推進のためのノウハウなどを学ぶとともに、道内外の事例から受入体制づくりで直面する課題を明らかにし、農村ツーリズム推進の基盤となる地域の連携強化のためのヒントや気づきを共有していきます。

大西 宏志氏を交えて

### パネルディスカッション

本セミナーの前に八雲町と旭川市の2か所で実施したワークショップで挙げられた、各地域の農村ツーリズム推進における課題を取り上げ、地域の受入体制整備や連携強化を図るうえで必要な視点やポイントについて考察していきます。

コーディネーター

### 木村 宏氏

北海道大学  
観光学高等研究センター  
客員教授



日本型DMOの先駆けとなる信州いいやま観光局にてグリーンツーリズムを推進し、体験型宿泊施設の立ち上げ、道の駅などの公共施設運営、着地型商品の造成、観光まちづくり事業を推進。長野県小布施町の老舗企業にてホテル・レストラン経営の実践・研究も行う。「信越トレイル」「みちのく潮風トレイル」など、日本のロングトレイルの普及活動にも従事。2015年12月より北海道大学観光学高等研究センター所属。2023年10月より(株)PLAY EARTH PARK 代表取締役。

パネリスト

### 赤井 義大氏

NPO法人やくも元気村  
事務局長



八雲町で中学を卒業後、高校・大学を海外(ニュージーランド・カナダ)で過ごし、東京で2年間サラリーマンとして勤務後、日本の田舎の魅力を世界に伝えたいと思い、地元八雲町にUターン。現在はゲストハウスとレストランを運営しながら体験型の観光事業を推進。2020年7月に南北北海道の各地が連携し、魅力発信と観光の受入を行うための協議会「Discover Southern Hokkaido」を設立。2021年には八雲町の山奥の廃校になった元小学校のリノベーションを行い、キャンプ場とコワーキングスペースの開業に携わる。

パネリスト

### 板谷 一希氏

一般社団法人  
大雪カムイミンタラDMO  
事務局長



1994年、旭川市役所入庁。2017年に観光課に異動し、大雪カムイミンタラDMO設立に従事。2018年からDMOに出向し、事務局長として現在6年目を迎える。2019年から2020年にかけては農林水産省の農泊推進事業の採択を受け、大雪エリアの農山村資源を活かした体験プログラム作りを推進。事業終了後においてもDMOが商品化し、OTAなどを通じて販売・提供を行っているほか、地域関係者との連携による新たなプログラム作りを進めている。